

竹田小最後の卒業式・修了式



21日には、竹田小最後の卒業生15名の卒業証書授与式がありました。有意義な1年間を過ごせたのは、6年生のおかげと思っています。そんな想いを式辞に込めて伝えました。一部紹介します。

今思い起こせば、すべてのはじまりは、みなさんが5年生の時に計画してくれた、竹田っ子ショータムにあるのではと感じています。6年生になると、「竹田小最後の一年」を思い出深い年にしようと前期児童会は「真夏のトライアスロン」を、後期になると先生方も一緒になって楽しんだ「ハロウィンパーティ」「クリスマスかくれんぼ大会」と、全校生が思い出に残る瞬間、瞬間をたくさん創ってくれました。

6年生のみなさん、全校生みんなが喜ぶ瞬間をたくさん創ってくれてありがとう。

それを今喜びたいと思います。

中略

もし、この先、何か思い出すことがあれば、小学校を訪ねてきてください。みなさんは小学生でなくなり、学校の名前も変わるけど、みなさんは大切な、大切なこの地域の宝物です。いつまでも応援しています。



22日には、修了式を行いました。

1年生11人は「一人ひとりが頑張り屋さんです」、2年生15人は「一人ひとりを大事にするクラスになりました」、3年生12人は「仲の良いクラス



です。それはけんがやもめ事があっても仲直りできるから仲がいいんです」、4年生13人は「友だちのことを素直に応援できるからあたたかいクラスなんです」、5年生13人は「竹山小学校の初代6年生にふさわしい力を身につけました」と、各学年へ言葉をかけながら代表の子に修了証を渡していきました。

また先生方を代表して教頭先生からも子どもたちのこの一年間の成長やよさを伝えて頂きました。



下校時には、3月末で異動となる駐在さんへのお礼の会を行いました。そこでも、5年生の子たちが代表としてお礼の言葉を伝えてくれました。

今年度の校長室からの第1号は『主語は「子ども」令和5年度のスタートにあたり』には、

昨年度「学校は楽しい所じゃない、楽しくするところだ」と痛切に感じたのですが、学校の最後の年、また新たなスタートを切る年にあたり、主語は「子ども」であることを認識し、子どもたちが保護者・地域・先生方とともに、めざす学校を考え、誰もが当事者となる学校づくりをしていきたいと考えています。

と、書いていたのですが、その気持ちは一年間が終わろうとしている
今もブレることはありません。

明日はいよいよ閉校式です。子どもたちと保護者地域のみなさん
思い出に残る1日になればと思っています。